

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------|---|-------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス ひこうせん | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年1月13日 | | ～ 令和8年1月23日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年1月13日 | | ～ 令和8年1月23日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年2月25日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 子どもたち一人ひとりの特性や発達課題に応じた支援を行っている | 一人ひとりの特性や発達の課題に応じた支援をするために、多数の職員がプログラム作りに関わり活動の内容や環境を調整するようにしています。その際、職員で役割を分担して必要なアプローチをしたり、得意なことに焦点を当てた活動を提供したりすることで成功体験を積み重ね、自己肯定感の向上を促しています。さらに、興味関心にあわせて発達段階に応じた選択肢を用意し、それぞれのペースで取り組めるように配慮しています。また、ことばに加え、文字や絵カード・サインを活用して、それぞれが活動の内容に見通しを持って過ごせるようにしています。こうした対応により、子どもたちが安心して自分らしく過ごせる環境づくりに取り組んでいます。 | さらに充実した支援を提供するために、日々の振り返りを大切にし、職員が各々感じたことを伝えあい、情報を共有していきます。また、研修等に参加し職員の専門性がさらに向上するよう努めていきます。 |
| 2 | 子どもたちに対して切れ目のない支援ができる | 当事業所は、職員の離職や異動が少ないことに加え、児童発達支援から高校卒業まで利用する子が多いため、継続した支援ができます。このことから、一人ひとりのできること・できないことの「今」を切り取って評価するのではなく、利用を始めた頃からの個々の成長を見ながら目標を設定し、アプローチしていくよう取り組んでいます。 | 子どもたちが継続して利用し、成功体験を積み重ねていけるように、さらに安心して楽しく過ごすことができるような環境づくりに取り組んでいます。 |
| 3 | 家族支援が充実している | ・保護者などからの相談については、一般論だけではなく各家庭の状況に合わせた助言を心掛けています。また、ご家族が参加できる行事を開催することで、保護者だけでなくきょうだいや親戚も参加して楽しめる時間を設けると共に、他のご家族とも交流できるよう取り組んでいます。 ・保護者のニーズに合わせたテーマで「保護者学習会」を開催し、保護者の悩みや困りに寄り添う機会を設けています。また、その中で、保護者同士で意見を交換できる場となるよう取り組んでいます。 | 今後も、行事や学習会などを開催し、その中で保護者同士が交流できる時間を設けられるよう取り組んでいます。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 放課後児童クラブとの活動や地域の子どもと活動する機会がない 地域交流 | 事業所の行事に地域の方を招いたり、町会に加入し地域行事に参加したりしていますが、場の共有に留まっています。周囲の人に上手に関われない子や関心のない子もいるため「一緒に遊ぶ」という経験を作ることが難しい状況があります。 | 事業所の行事に招待する対象を広げたり、放課後児童クラブに交流の場を設けてもらえるよう、引き続き検討していきます。また、事業所の周囲で活動する姿(清掃活動や散歩など)を通して地域の方の理解を得られるように活動していきます。 |